

● 最近の県内経済

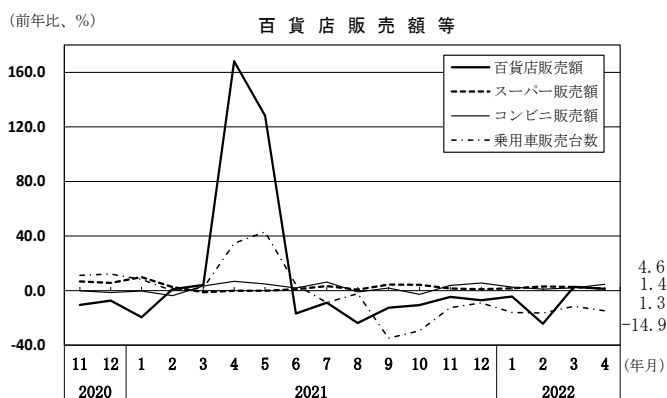
(2022年4月を中心として)

2022年6月27日

今月の概要

一部に弱さがみられるものの、個人消費を中心に持ち直しの動きがみられる。

1 個人消費 持ち直しの動きがみられる



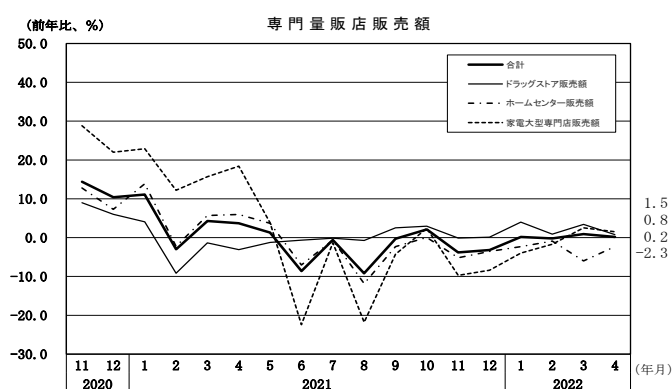
(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

個人消費は、まん延防止等重点措置解除後、持ち直しの動きがみられる。

4月の百貨店およびスーパーの販売額（店舗調整前）は、百貨店が110億円で前年比1.3%増（2か月連続の増加）、スーパーは948億円で同1.4%増（11か月連続の増加）となった。また、コンビニ販売も546億円で同4.6%増と、6か月連続の増加となった。

一方、乗用車販売は、前年比14.9%減と10か月連続の減少となった。内訳をみると、普通車（同13.6%減）は8か月連続の減少となったほか、小型車（同25.1%減）、軽乗用車（同8.8%減）は、いずれも11か月連続の減少となった。

百貨店やスーパー、コンビニにおいては、まん延防止等重点措置解除による外出機会の増加などが売上に寄与した。



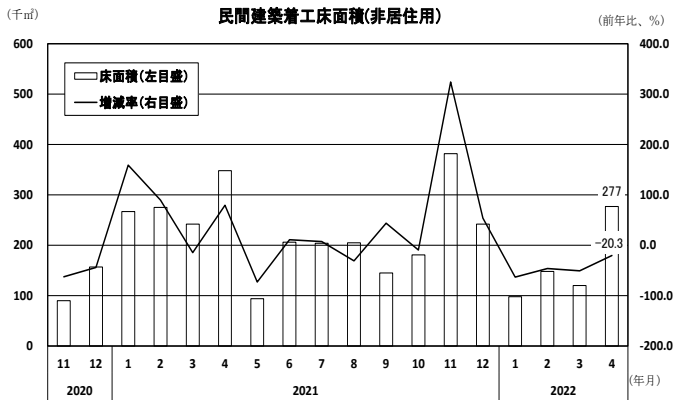
(資料) 経済産業省

4月の専門量販店販売額は、730億円で前年比0.2%増となった。内訳をみると家電大型専門店が175億円で同1.5%増（2か月連続の増加）、ドラッグストアが369億円で同0.8%増（5か月連続の増加）、ホームセンターが186億円で同2.3%減（6か月連続の減少）となった。

関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、3月〈32.8〉、4月〈32.2〉、5月〈33.3〉で推移している。

2 設備投資

基調として持ち直している



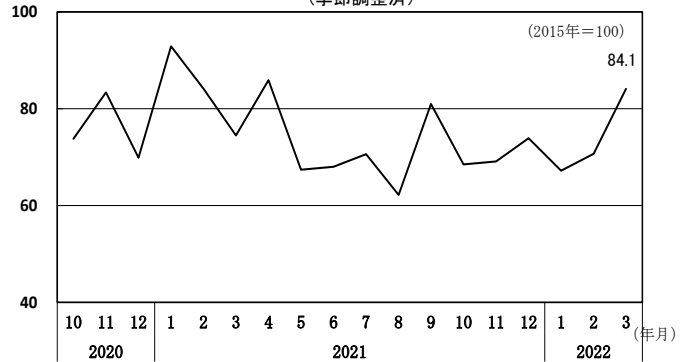
(資料)国土交通省

旺盛な半導体関連需要やEコマース関連需要に加えて、コロナ禍で見送りの案件の実行も幅広い業種でみられる。

4月の民間建築着工床面積(非居住用)は、277千㎡で前年比20.3%減となった(5か月後方移動平均でも前年比31.3%減)。

用途別にみると、事務所、店舗、倉庫、学校の校舎が増加したものの、工場及び作業場、病院・診療所はいずれも減少した。

資本財出荷指数 (季節調整済)

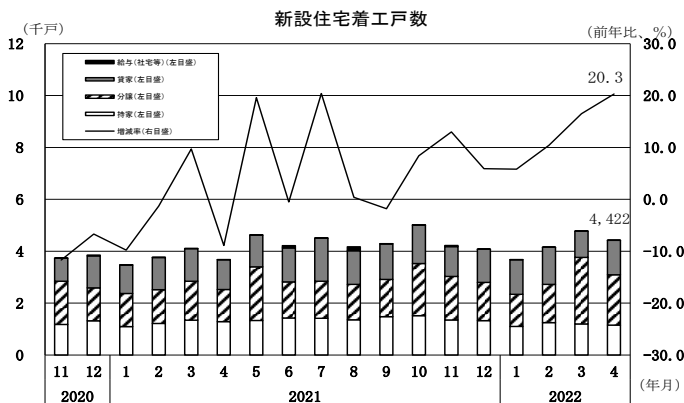


(資料)埼玉県

3月の資本財出荷指数(季節調整済)は84.1で、前月比19.0%増と2か月連続の増加となった(5か月後方移動平均では、前年比3.1%増)。

3 住宅建設

持ち直している



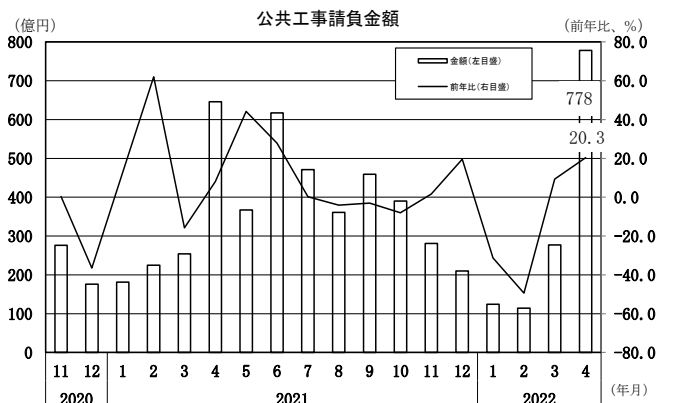
(資料)国土交通省

コロナ禍で低調だった前年の反動増もあり、持ち直している。

4月の新設住宅着工戸数は、4,422戸で前年比20.3%増と7か月連続の増加となった(5か月後方移動平均では11.9%増、12か月連続の増加)。利用関係別にみると、持家(1,151戸)が同10.4%減、貸家(1,326戸)が同15.1%減となったものの、分譲マンション(667戸)が同666.7%増、分譲一戸建(1,273戸)が同11.3%増とそれぞれ増加した。

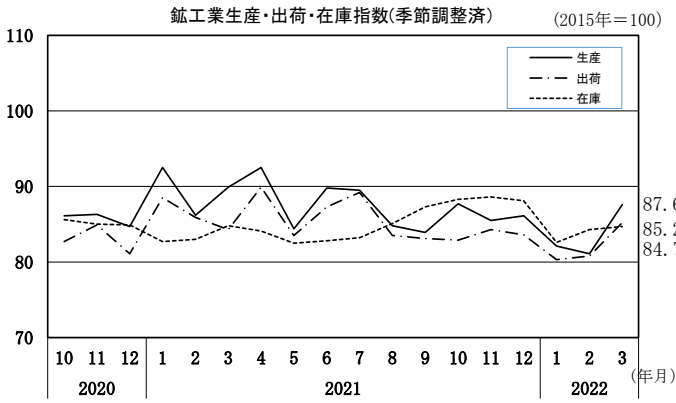
4 公共工事

持ち直している



(資料)東日本建設業保証株式会社

4月の公共工事請負額は、778億円、前年比20.3%増となり、5か月後方移動平均でも前年比1.5%増となった。発注者別でみると、国、独立行政法人等、都道府県は減少したものの、市区町村は増加した。



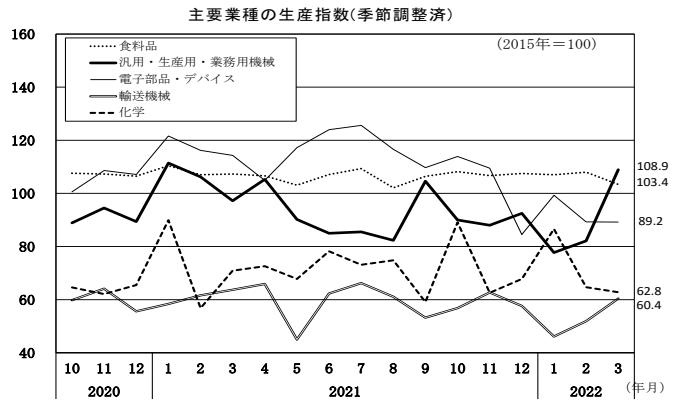
(資料) 埼玉県

中国の景気減速を受けた輸出の鈍化や半導体不足を受けた自動車の減産の影響を受けて、このところやや弱含んでいる。

3月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、87.6で前月比8.0%上昇(3か月ぶりの上昇)。木材・木製品(特殊合板)、食料品(炭酸飲料、めん類)などが低下したが、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、研削盤)、業務用機械(パチンコ、医療用機械器具)などが上昇した。

出荷指数(同)は、85.2で同5.4%上昇(2か月連続の上昇)。木材・木製品(特殊合板、製材)、食料品(炭酸飲料、めん類)などが低下したが、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、研削盤)、電気機械(電気計器、電力変換装置)などが上昇した。

在庫指数(同)は、84.7で同0.5%上昇した(2か月連続の上昇)。電気機械(クッキングヒーター、鉛蓄電池)、プラスチック製品(プラスチック製容器、合成皮革)などが低下したが、輸送機械(乗用車、トラック)、汎用機械(圧縮機、汎用内燃機関)などが上昇した。



(資料) 埼玉県

◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、103.4で前月比4.3%低下し、2か月ぶりの低下となった。

◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、108.9で同32.7%上昇し、2か月連続の上昇となった。

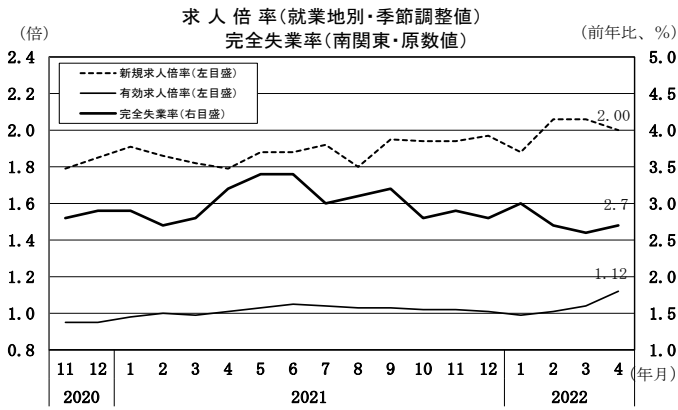
◆ 電子部品・デバイス(同)は、89.2で同0.1%低下し、2か月連続の低下となった。

◆ 輸送機械(同)は、60.4で同16.4%上昇し、2か月連続の上昇となった。

◆ 化学(同)は、62.8で同2.9%低下し、2か月連続の低下となった。

6 雇用情勢

持ち直しの動きがみられる



(資料)厚生労働省、総務省

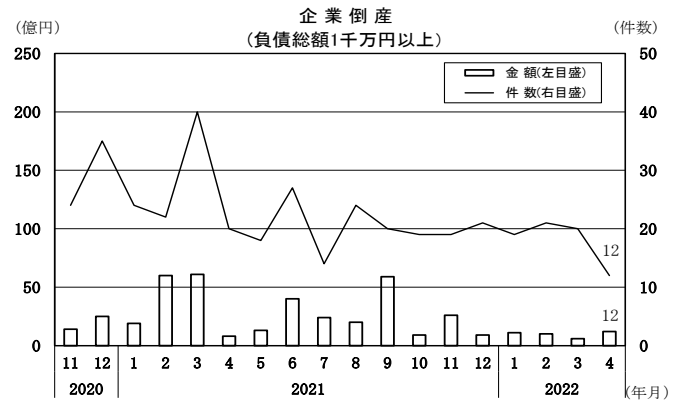
2020年春以降のコロナ感染拡大に伴い、対面型サービスを中心に経済活動が抑制されていたが、ここに来て持ち直しの動きがみられる。

4月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.12倍で前月比0.08%上昇した(3か月連続の上昇)。また、新規求人倍率(同)は、2.00倍で前月比0.06%低下した(3か月ぶりの低下)。

完全失業率(南関東、原数値)は、2.7%で前年同月比0.5%低下した(前年同月比2か月連続の低下)。

7 企業倒産

低水準で推移



(資料)帝国データバンク

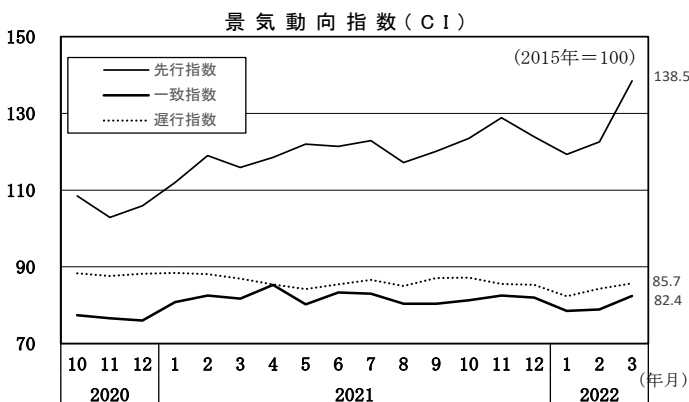
コロナ対策としての政府の資金繰り支援策もあって、低水準で推移している。

4月の企業倒産件数は、12件で前年同月比8件の減少となった。負債総額は12億円で同4億円の増加となった(5か月後方移動平均では、件数は前年比34.0%減、金額は72.5%減)。

業種別にみると、製造業が最多で3件、次いで建設業、卸売業、小売業、サービス業がそれぞれ2件と続いている。主因別では、販売不振が10件となっている。

〈参考〉

景気動向指数(CI) 足踏みを示している



(資料)埼玉県

3月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、82.4で前月比3.5%上昇し、2か月連続の上昇となった。

CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、138.5で同15.9%上昇し、2か月連続の上昇となった。

CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、85.7で同1.4%上昇し、2月連続の上昇となった。